

自分の考えや思いを英語で伝え合うことに喜びを感じる児童生徒の育成をめざして

越ヶ浜中の
英語の取組

☆学年の垣根を取り除いた英語交流

～少人数のメリットを生かしたモジュール学習の効果的活用～

金曜日のモジュール学習の時間（10分間）に、1・2年生合同でスマールトークに取り組んでいます。

この日は『アメリカの中学生とオンラインで繋ぎ、自己紹介をしよう』という設定のもと、1分ずつペアを変えながらやりとりを行いました。自分のことだけでなく、自分の国について紹介したり、相手の国に興味をもって質問したりしていました。

普段の英語の授業では、同じ学年の人と英語でやりとりをしています。モジュールの時間に先輩・後輩と英語で話すことで、新しい気づきを得られたり、お互いに“負けてられない”と、モチベーションを高め合ったりすることが期待できます。「2年生の先輩たちの英語の発音がとてもきれいだった！」「先輩が使っていた表現を使ってみよう！」という1年生の感想や、「1年生が大きな声で積極的に英語を話していてすごい！」という2年生の感想がありました。

普段の授業で、それぞれ学習したことをスマールトークで発揮して、先輩と後輩が刺激を与え合い、一緒に英語力を高めていきましょう！



少人数のデメリットは、学年間での英語交流を定期的に取り入れることで解消！日頃の授業で、教科書の内容にこだわらない汎用性の高い表現をどんどん吸収させて使わせています。

「型」「や」「表現」を与えつつも、テーマが変わるごとに自分の頭で思考・判断して表現する訓練を続けています。ゴールとする道のりは遙か先ですが、生徒たちの着実な成長ぶりが感じられます。

